Word などで図を挿入した後の位置の固定方法

レイアウトオプション ページ上の位置を固定

PCクラブ 2025.04.16

図の上で右クリック メ 切り取り(I)

テキストの編集(X)
 頂点の編集(E)

■ 最前面へ移動(R)
 ■ 最音面へ移動(K)
 ● ハイパーリンク(I)…

図表番号の挿入(<u>N</u>)...
 文字列の計り返し(<u>W</u>)
 風定のテキストポックスに設定(<u>D</u>)
 その他のレイアウトオプション(<u>L</u>)...

※ 図形の書式設定(0)

·→(R) 和 · 番母(I) 念日 · 基準[] 約 · 基準[] 約 · 素明/k²

■ オーバーラップさせる(½)
■ スのりい内で配置する(

メニューの検索

間 クルー

の リンク(1)

局 最前面へ移動(B)

23 最背面へ移動(K)

図として保存(S)...

図表番号の挿入(N)...

▲ 文字列の折り返し(W)

○○ 代替テキストを表示(A)...

レイアウトの詳細設定(Z)..
 図の書式設定(Q)...

X 切り取り(I)

OK \$40/08

住屋 文字外の

○ 相対位置(3) 重重方向 ○ 配置(6)

〇本のレインクト(B) 内田 〇 仏方前の観察(P) 2.5 mm

○ nd型(G) 上
● 下方向の証明(S) 19 mm
○ 研究(位置(I))

■ 31791と一時におりまえ(M) □ メンカーを探索が同主する(L)

#∓Лн © 87¥(∆) コピー(C)
 貼り付けのオブション:

- 【レイアウトオプション】をクリック
- 2. 【ページ上の位置を固定】をクリック

この設定は、文字列の折り返しの設定が【行内】では出来ません。バージョンによって表示していない場合には、【文字列の折り返し】から【ページ上で位置を固定する】を選択します。

図・写真の場合

1. 図を選択し、

固定したい図を右クリックして「図の形式」タブをクリックし、「配置」グループの「文字の折り返し」下の「V」をクリックし「その他のレイアウトオプション」を 選ぶ



レイアウトのダイアログの「位置」タブを開くと「配置」や「右 方向の距離」「下方向の距離」オプションが選択できるのでそれ をチェックしてから左の「基準」から「ページ」を選ぶ。 水平方向・垂直方向とも同じ操作をすると上下左右方向にずれ なくなる。

オートシェイプの場合

オートシェイプの上で右クリックして「レイアウトの詳細設定」を選ぶ



「レイアウト」の「文字列の折り返しで」タブで「四角」や「外周」 を選択して左下の「OK」」をクリックする

「位置」タブを表示して チェックボタンの「配置」や「右方向の距離」「下方向の距離」をチェックして左の「基準」のプルダウンから「ページ」を選ぶ。

「OK」ボタンを押すと一旦オートシェイプはページの右上等に移動するが、マウスでつまんで適当な位置にドラッグして調整する。





No.47

Word の場合、図やオートシェイプは挿入した時は挿入時点でカーソルがあった段落と相対的に位置が決められ、その段落が動くと一緒に移動してしまうので、折角レイアウトを決めても後からの操作でレイアウトが崩れて台無しになることがあります。

以上のようにすることで、後からそのオートシェイプの上に文字などを挿入・追加してもこの図 やオートシェイプは位置が移動しなくなる(文字列などがその図を迂回して挿入される)ので折角 レイアウトを整えた部分が崩れることはありません。

ここに新しく文字列を追加すると、この段落以降に関連付けられ たオートシェイプや図は下にずれて行ってしまい、ページを超え たり意図しないレイアウトになってしまう。↩



テキストボックスの位置の固定

テキストボックスの位置を上下の行数が変わることによって移動させず、ページ内の固定した位 置に表示させる方法は

① テキストボックスの枠線の上で「右クリック」





③レイアウトの詳細設定ダイアログで「文字列と一緒に移動する」 のチェックをはずす。



垂直方向の下方向の距離の右側「基準」を 「ページ」にする。